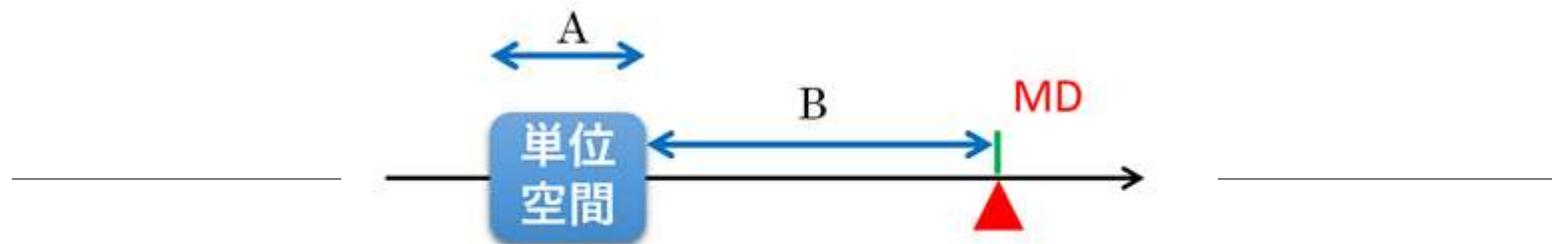


移動単位空間の用途と利点

MT法の**新**予測最適化技術

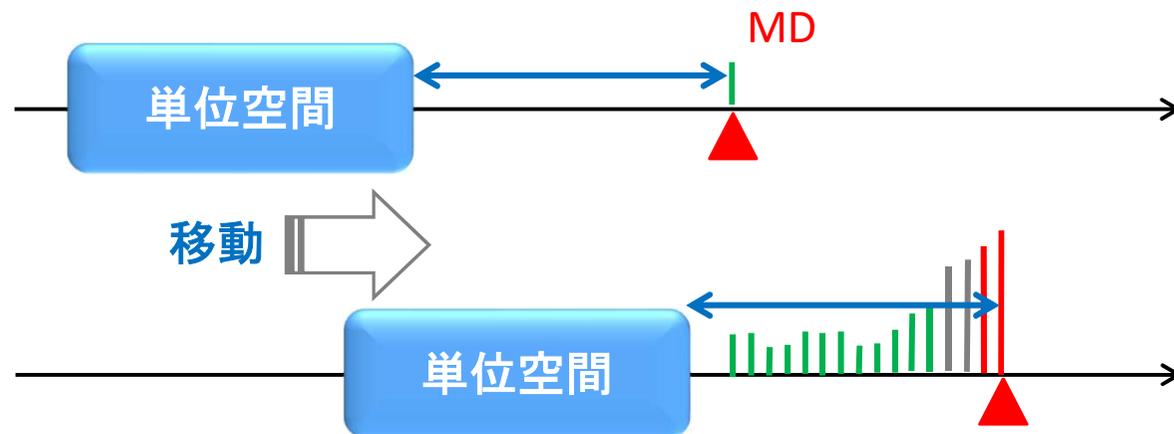


アングトライ株式会社

www.angletry.com

移動単位空間とは

時系列データによる予測問題で、単位空間を移動させながら予測値(マハラノビス距離)を求める技術です



予測問題の課題

正常状態、いつもの稼働状態

と対比して

異常の兆候をいち早く、感度よく検知すること

および

異常原因を即座に突き止めること

どんな場合に必要か

機器や設備監視などの異常予測問題

にMT法を適用する場合、

正常期間に対する現在のマハラノビス距離(MD)

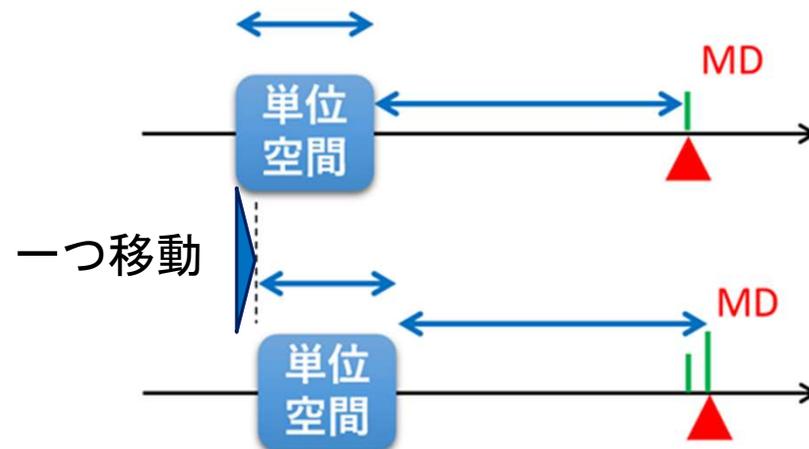
を求める。

しかし正常にも季節などによるゆるやかな変動

がある

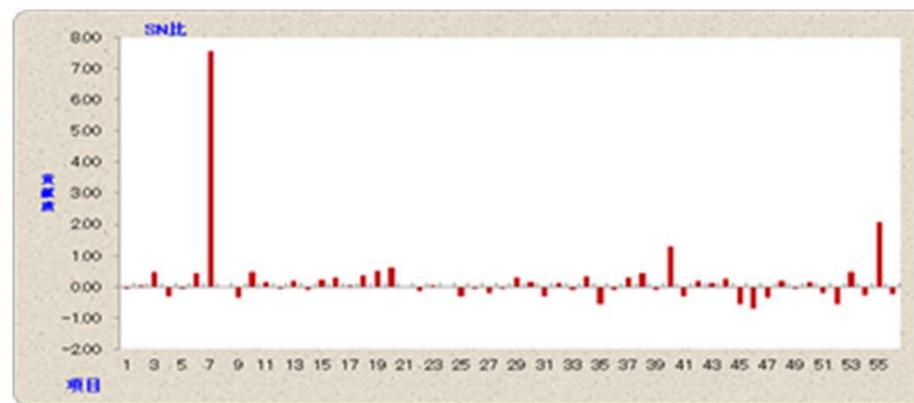
単位空間の移動

- 可能な限り直近の正常期間を単位空間とする
- 時間が一つ進んだら、単位空間も移動する
- ゆるやかな変動にも的確に対応できる



異常の原因診断

マハラノビス距離が大きく、“異常”と判定されたとき
どの項目が原因となっているか
即座に解析する → MT法の利点



Ver.05

MTRT-AddInsの新機能

MT法に移動単位空間の機能を追加

予測問題の最適化がきわめて簡単に解決します

原因診断もその場で実行



地震リスク予測の事例

移動単位空間の技術は
機器や設備監視に利用されています

このほか、地震リスク予測でも適用されており
ホームページから詳しい資料をご覧ください

www.angletry.com